



塩尻産米の市内流通拡大を

される。支援策は。(石井)

答 霜と雹による被害額は合わせて3億700万円余。雹害に対しては病害発生防除1回分の農薬代を補助し、また営農資金の緊急融資(限度額200万円、5年償還)の利子(3.5%)補給を実施する。

◆塩尻産米の市内流通

問 流通コスト軽減や地産地消の観点から推進を。(石井)

答 市内生産量3千900トン、消費量は4千100トンと推計される。学校給食では市内産米を全量使用しているが、市内流通量は少ないようだ。自由経済の中、多くの課題がある。今後、市内農協とともに研究していきたい。

◆日米FTAの影響は

問 日米FTAと農業との関係について、日米FTAが締結された場合の市内の農業に与える影響についての考えはどうか。(柴田)

答 FTAを締結する場合、農業問題は避けられない課題。米国から大量の農産物が輸入されることから、市内農業には大きな影響があると考え、国の動向を注視したい。

◆野生鳥獣による被害と対策被害状況は。(永田)

答 今年はイノシシ、カラスによる被害が増加している。銃器により駆除していく。



野生鳥獣対策の電気柵設置箇所

安全で魅力あるまちづくり

◆遊歩道整備への補助事業は

問 比叡の山に遊歩道、休憩施設を整備する考えは。(永田)

答 市の事業として取り組む計画はないが、地域が取り組む場合元気づくり支援事業など、支援事業がある。

◆高校北通線に歩行者専用信

号機設置を



多くの小学生が横断する高校北通線の横断歩道

問 来年開通する高校北通線について、消防署交差点から東へ国道19号までの、約700mの直線道路は中央スポーツ公園内であり、周辺には桔梗小学校をはじめ、日の出保育園、子育て支援センター等があり二箇所の横断歩道を利用しているが、信号機の設置を考えているか。(牧野)

答 高校北通線の交通安全対策として、高原通りと交差する中央スポーツ公園入口交差点は、車と歩行者を完全に分離するスクランブル交差点とする。

さらに児童が安全に登下校できるよう、また、中央スポーツ公園利用者の交通安全対策のため、桔梗小学校付近への押しボタン式信号機の設置についても、関係機関と協議・調整していく。

問 開通する事により、JA流

通センターへの大型トラックの通行が多く予想され、朝夕学生の横断が500人以上ある現在安全確保が急務と考え、信号機の早期設置を要望する。(牧野)

答 早急に検討する。

どうなる中心市街地活性化

◆市街地活性化のゆくえ

問 ウィングロードの今後とえんぱーくへの影響はどうか。(石井)

答 イトーヨーカ堂とは緊密な関係を維持してきたが、開店以来の赤字と大不況で閉店の方針であるとのことだ。大門地区には核になる商業施設が不可欠であり、仮に閉店となつた場合は、他の商業施設が入るよう全力を尽くす。ア



ウィングロードの今後とえんぱーくへの影響は